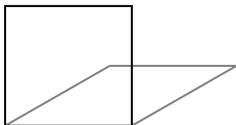


特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

2006 年度事業報告書

期間:2006 年 7 月 1 日 ~ 2007 年 6 月 30 日

2007 年 9 月 8 日現在



目次

． 2 0 0 6 年度の成果と総括	2
はじめに	2
1． 中心的に取り組むべき方向性	4
2． 具体的に取り組む課題	4
3． 組織基盤の確立	6
． 2 0 0 6 年度 事業報告	8
1． 概要	8
2． センターの事業に関する事項	10
3． センターの運営に関する事項	36
． 2 0 0 6 年度 収支報告	42
． 資料	47

． 2006年度成果と総括

はじめに

1997年11月1日に当センターが設立されてから、今年の11月1日で丸10年になる。本年度の活動は、当センターにとって大きな節目の年である。

この10年で、宮城県内の特定非営利活動法人認証数は490団体（2007年7月4日現在）、全国の法人認証数は3万団体を超えた。申請数の伸びは一段落したものの、増加傾向はしばらく続くと予測される。

一方で新自由主義的政策の進展によってますます格差社会の道を歩む私たちの国において、社会的排除の風潮に抗い、社会的課題に果敢に挑戦するNPOが、社会変革の中心的な担い手として成長していくことが期待されている。

そんな中で、2006年度は、10周年に向けて、記念事業などの取り組みの準備を進めると共に、10周年以降の当センターの戦略について、大きなデザインを描く時期であり、理事会、評議員会などで議論を進めてきた。さらに2007年度には、日本財団の助成を得て、中間支援組織のこの10年の総括と今後の展望を、調査とワークショップによって浮かび上がらせる事業に取り組んでいる。

2006年度の成果を簡潔にまとめると以下ようになる。

1. 前年度赤字からの脱却 ギリギリ成功
2. サポートセンター移転と指定管理者公募
対応 しっかり成功
3. サポート資源提供システムとみんな
ファンドの定常運用確保 立派に成功
4. 「協働の強化書」研究会による協働事業推進
体制確保 バッチリ成功
5. せんだいCARE S実行委員会による
企業への働きかけなど 一定の成功

また、直接計画にはなかったものの、相談、行政からのアプローチにより、検討した結果、名取市市民活動支援センターに対して、毎週土曜日に相談員を派遣し、各種相談に対応し、かつセンターの運営に関するアドバイスを継続的に行う契約を結び、2006年8月1日よりスタートしている。また、仙台市からの委託で、仙台市シニア活動支援センターを、仙台市市民活動サポートセンターの3階に開設し、その準備業務を委託契約により行った。シニア活動支援センターは、2007年7月1日よりオープンし、情報提供、相談、セミナー、サロン等の事業を行っている。当センターとしては、サポートセンター運営によって蓄積された情報とノウハウを、団塊シニア層の社会参加支援に活用していくという方針で、受託を決定し、取り組んでいる。

次頁以降、2006年度の事業計画に基づいて、個別の自己評価を行う。

1．中心的に取り組むべき方向性

- ・ 社会、特に企業や行政の社会変革に取り組むNPOに対する理解の促進
- ・ NPO側の信頼性の構築と経営能力の向上
- ・ 制度改革への地方におけるNPOの声の結集とアドボカシー
- ・ 中核的自主事業の経済的基盤の確立

上記の方向性に基づき、2006年度の取り組みを以下のように行った。

2．具体的に取り組むべき課題

- ・ NPO情報ライブラリーの安定的運用を通して、NPOの信頼性構築に貢献する
- ・ サポート資源提供システムとみんなファンドの安定的運用を通して、継続的な資源提供によりNPOの経営基盤確立へ貢献する

NPO情報ライブラリーの運用とサポート資源提供システムおよびみんなファンドの運用については、担当者の交代もあったが、順調に推移している。

また、助成金申請の事前相談を充実させた結果、団体情報把握がより可能になり、助成金以外の支援に結びついているなど、支援メニューの強化につながっている。

- ・ せんだいCARESCAMPキャンペーンへの取り組みによって、広く社会に対するNPOの活動情報の発信と市民参加の機会の提供を行う。

第4回のせんだいCARESCAMP2006が、実行委員会により開催された。センターは事務局を担った。事業展開では、実行委員会での議論の反映を大切にし、学生によるCARESCAMPケアーズなど、新しい展開も試みた。全体としては、サポートセンターの移転問題の影響もあ

り、参加団体数が減少したことが課題で、2007年度は、サポートセンターのネットワーク推進事業としても取り組むことになり、5周年の節目にあわせて拡大を目指している。

- ・「協働の取り組みの強化」については、中核的NPOとの関わりを増やし、その中から協働の取り組みを成長させる。また「協働の強化書研究会」「学生インターンシップ」なども「協働の取り組みの強化」の面からも推進する。
- ・協働の強化書研究会を通してNPO側の政策提案力と協働推進力の向上を目指す。

「協働の強化書」研究会は、全体で11回の研究会の開催とアンケート調査やヒアリング調査を行った。メンバーは、4自治体10人の自治体職員と19人のNPO関係者で取り組んだ。立場の違いを超えて、ヒアリングした事例を検討し、協働の課題を抽出、論点整理を行った。

『協働の強化書』の発行後は、ファシリテーションの研究会への希望が多く、9月以降に検討していくことになった。SSCSやせんだいCARES実行委員会の中の「CARESケアーズ」、宮城大学事業構想学部からの学生インターンシップなど、センター事業に新しい風を入れて、大きな戦力にもなった。いずれも、センター職員だけの事業展開ではなく、自治体職員やNPO関係者との協働の取り組み強化を進めた。

- ・仙台市市民活動サポートセンターについては、移転後のスムーズな運営を目指しつつ、指定管理者公募に備え、よりよい協働関係とサービスの向上のための提案書を作成し、第二期の指定管理者受託を目指す。

サポートセンターの移転に対する取り組みが約1年間にわたって続き、2006年8月に移転、同年9月1日に新サポートセンターを開館した。同時期に、指定管理者の公募が行われ、多数の文書を作成して応募し、結果選考された。この2007年4月より、二期目の指定管理者として3年間の運営に従事することになった。地下の市民活動シアターの事業、出前サポセン事業な

ど新規提案事業も加わった。

- ・コミュニティ関連施策および事業の研究を行い、地域コミュニティ再生のための支援メニューを開発する。
まだ準備段階で、研究会への参加と情報収集にとどまった。加藤、山田両理事による『コミュニティの自立と経営』(株)ぎょうせい、から出版。
- ・ホームページのリニューアルを行い、オピニオン型の情報発信力を強化する。
実現した。ブログを複数立ち上げ、タイムリーな情報発信を行う環境を整備した。

3 . 組織基盤の確立

- ・スタッフの力量向上による一層の事務局体制の強化。
- ・各種相談能力の向上を目指す。
- ・インターンシップ、研修生、ボランティア、研究員などの多様な主体による参画型の事業体制の構築。
組織内外の研修機会の確保や「協働の強化書」研究会や各種インターンシップ、行政職員研修受け入れなどを通して、参画型の事業運営の端緒はつかった。
- ・センター会員制度の抜本の見直しへ向けた検討委員会は引き続き検討会を重ね、2006年度内にその成果を会員制度の見直しに生かす。
- ・2005年度の赤字を解消し、安定的な運営を目指すため、節約に努めると共に、収入増に努める。
2006年度最大の課題は、この赤字の解消または脱却の道筋をつけることであったが、サポートセンター移転やスタッフ交代などもろもろのマイナス要因を乗り越えて、なんとか黒字に持ち込むことが出来た。会員制度の見直しについては、検討中。
- ・10周年記念事業について検討準備を進める。

- ・ 10周年を契機に中長期ビジョンの検討を継続して行う。
2007年度に日本財団より助成を確保し、中間支援組織の10年の総括と今後の展望についてのヒアリング調査とワークショップによる議論の記録をまとめる計画を進めており、2007年度の中心的な事業になる。

・ 2006年度事業報告

1. 概要

A. 政策提言（アドボカシー）啓発事業

全国のNPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会への継続的参加を通して、一連の公益法人制度改革や税・法人制度改革に向けた情報収集とアドボカシー活動を続けたが、政治情勢などもあり、動きの少ない年であった。また、2006年4月より「協働の強化書」研究会を市民・行政関係者で結成し、調査・ヒアリングを通して、市民のための協働と提案の手引き書を作成した。また多数のセミナーなどを開催、市民公益活動の啓発に努めた。

関連事業：NGO/NPOに関する税・法人制度改革連絡会への参加、協働環境調査、「協働の強化書」研究会、仙台市「市民活動サポートセンター」管理運営・まつり事業・協働相談・骨プロ、地球環境基金「協働コーディネーター養成講座」、セングードサロン、各種委員会、等

B. マネジメントサポート事業

サポートセンターでの人材育成事業、相談事業等、コミュニティビジネス起業家セミナー、地球環境基金/地球市民大学校「環境NGOのための組織マネジメントセミナー」ブログセミナー等、各種のマネジメントセミナーやスキルアップセミナーを開催し、経営相談事業等も行い、NPOのマネジメント能力向上に努力した。また、「協働の強化書」の発行は、協働のマネジメント分野において、より具体的なノウハウの支援につながるものと考えている。

関連事業：経営相談、講師派遣、セングードサロン、仙台市「市民活動サポートセンター」人材育成事業・市民活動起業講座・協働相談、地球環境基金「環境NGOのための組織マネジメント講座」、仙台市産業振興事業団「コミュニティビジネス起業家セミナー」、名取市市民活動支援センター相談派遣事業等

C. ネットワーキングサポート事業

セングードサロンは計6回開催し、多様なトピックを取り上げて関連する市民団体のネットワーキングを推進した。また、4年目を迎えたせんだいCARE S 2006は実行委員会方式により多くの企業人、NPO関係者、学生たちをつなぎ、新しい動きを築きつつある。また他県のNPO支援組織との連携も随時図っており、3月からは東北ろうきんのCSR推進への協力で、東北各地の支援センターとの協働の取り組みを進めている。環境NGOのための組織マネジメントセミナーの山形県開催では、地元の支援組織との連携を図り実施した。

関連事業：セングードサロン、せんだいCARE S、仙台市「市民活動サポートセンター」まつり事業、「環境NGOのための組織マネジメント講座」東北地区NPO支援センター連絡会議、各地NPO推進機関との連携、等

D . 情報サポート事業

NPO情報ライブラリーによる情報公開・発信支援は、継続して的確に運営し、NPOに対する社会的信頼の創造に寄与している。また、サポートセンターでは、チラシ・パンフレット類の団体別ファイリングを継続し、総タイトル数が5,800団体に達した。ブログセミナーの開催等を通して、さらにNPOの情報発信に新しい方向性を探り、2007年度の取り組みの先鞭をつけた。HPのリニューアルを行い、ブログによるタイムリーかつフレンドリーな情報発信の環境が整った。

関連事業：NPO情報ライブラリー、ホームページ、事務局通信「みんなみんな」、みんな堂での書籍販売、せんだいCARES、河北新報「NPO情報室」への寄稿、各種媒体への寄稿、仙台市「仙台市民活動サポートセンター情報サロン・骨プロ・図書販売」、等

E . 調査・コンサルティング事業

調査研究としては、「協働の強化書」研究会を設立、県内の協働事例についてアンケート調査とヒアリング調査を行い、報告書『協働の強化書』を発行した。また行政の各種市民参加型事業のコンサルティングも継続して行い、コミュニティ活動の支援からポイ捨てごみへの取り組みや緑の市民活動の支援まで幅広い支援を行った。行政職員およびNPO関係者対象の研修会への講師派遣も多数行い、質の高いサービスを提供した。

関連事業：協働環境調査、「協働の強化書」研究会、仙台市「市民活動サポートセンター利用者アンケート調査」、まち美化に関する市民活動推進のための支援事業、クリーン仙台推進員、市民トラストの森、緑の市民ネットワーク、名取市市民活動支援センター相談派遣事業、仙台市シニア活動支援センター管理・運営研究会参加各種講師講師・研修派遣、等

F . NPOの経営資源の仲介・提供事業

運用開始から5年半を経たサポート資源提供システムとみんなファンドは、111団体に対して総計で約1,140万円相当の資金、中古什器備品、中古PC等を提供した。また7,500坪の山林の提供も行い、今後の展開に新しい次元を拓いた。企業向けの社会貢献セミナーも開催し、企業人のネットワーキング促進のため、忘年会と新年会を開催し、新しい企業との関係構築に努力した。

関連事業：サポート資源提供システム（物品等提供、パソコン等提供、資金提供＝みんなファンド、みやぎNPO夢ファンド、ろうきん地域貢献ファンド、ふくふくファンド）NPO情報ライブラリー、ホームページ、せんだいCARES、等

2. センターの事業に関する事項

事業名	NPO / NGOに関する税・法人制度改革連絡会への参加
主催	NPO / NGOに関する税・法人制度改革連絡会
世話団体	2006年度世話団体 特定非営利活動法人 NPO事業サポートセンター 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター 特定非営利活動法人 子どもNPO・子ども劇場全国センター シーズ = 市民活動を支える制度をつくる会 特定非営利活動法人 日本NPOセンター
地域 幹事団体	2006年度地域幹事団体 特定非営利活動法人 NPO推進北海道会議 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター 特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 特定非営利活動法人 NPOくまもと
実施概要	<p>当センターとして、今年度は下記に参加した。</p> <p>2007年度総会 日 時:2007年5月28日(月)16:00～18:00 場 所:みなとNPOハウス(東京都港区) 出席者:19団体 委任状出席:17団体</p> <p>議 事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議長の選出 3. NPO / NGOに関する税・法人制度の全体的な状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) NPO法人制度改革について (2) 認定NPO法人制度の改正について (3) 公益法人制度改革について (4) 資料「NPO法人を見直す場合、ポイントとなりうる点(案)」について (5) 質疑応答 4. 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> 第1号議案 2006年度の活動報告について 第2号議案 2006年度の会計報告について 第3号議案 2007年度の活動計画について 第4号議案 2007年度の予算について 第5号議案 世話団体ならびに地域幹事団体の選任について 第6号議案 その他 5. 閉会

事業名	都道府県・全国主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査
主催	人と組織と地球のための国際研究所、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、他
目的	都道府県・全国主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査を行っている。 2004年度、2005年度調査に続き、第3回の調査である。今回は、東北の他の5県の調査は、各県の支援センターにお願いし、当センターは、宮城県および県内13の市を対象とする調査を行っている。
成果	現在、取り組み中
実施概要	6月2日 - 3日の東北ろうきん主催の東北地区NPO支援センター連絡会議にて、協働環境調査の説明と各県での取り組み依頼を行った。 結果、青森、秋田、岩手、山形、福島は、各支援センターが調査を行うこととなった。 当センターは、宮城県および県内13市を対象に調査を行う。

事業名	行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力 : 34件
-----	-------------------------------

事業名	NPO・市民活動団体向け研修・講師派遣 : 57件
	自治体職員向け研修・講師派遣 : 16件
	企業向け内部研修・講師派遣等 : 9件
	研究会参加 : 2件
	大学非常勤講師 : 3件
	研修受入 : 自治体1件

* 上記詳細は、当センターホームページ「センター組織概要 事業報告」をご参照ください。

事業名	「協働の強化書」プロジェクト																									
主催	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター (宮城県共同募金会配分金申請事業)																									
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター																									
目的	<p>協働ブーム、指定管理者制度の導入など行政とNPOの関係は大きく変化している。しかし情報不足など市民・NPO側の協働理解はまだ不十分であり、さまざまな問題も起きている。そこで、市民活動団体・行政、2つのセクターの人々が提携・協働して研究会を組織して1年間活動した。その結果、市民による市民のための協働の手引書「協働の強化書」を発行し、関係機関等に配布した。</p>																									
成果	<p>一昨年より準備を重ね、昨年1月の協働環境調査報告会で正式に呼びかけて発足、2006年4月よりプロジェクト開始。NPOと行政側から総勢29人の熱心な参加があり、一年間の共同研究が遂行された。成果として目標どおり『協働の強化書』を刊行した。また、共同作業の中での双方の学びあいと信頼関係の醸成についても大きな成果があったと思われる。</p>																									
実施概要	<p>本プロジェクトは、実際に協働に取り組んできたNPOの人たちと、その相手方である自治体職員及び企業人を中心に「協働の強化書」研究会を組織し以下の活動を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究会の開催 1ヶ月に1回ずつ1年にわたって開催し、参加市民団体・行政・企業の持つ情報を交換し、連絡・協議を行なった。 2) アンケートによる協働の実態と意識調査 宮城県内のNPO法人および主要な市民活動団体を対象に郵送によるアンケート調査を行い、協働の実態と協働に対する意識に関する情報の収集と整理を行い、研究会の検討材料として提供し、報告書に分析を掲載した。 3) ワーキンググループによるヒアリング調査 対象を17事例選定し、ワーキンググループごとに分担を決め、宮城県内の先進的事例の詳細調査と情報の整理を行なった。 4) ケーススタディの実施 ヒアリングした事例をもとに、研究会参加者による事例分析(ケーススタディ)を実施した。 5) 報告書「協働の強化書」の執筆と編集と発行 調査研究の報告書として協働の手引書、「協働の強化書」(A4判、112ページ)を作成した。 <p>年間実施スケジュール</p> <table border="0"> <tr> <td>2006年4月12日</td> <td>・第1回研究会 運営方法の策定とヒアリング対象事業の検討 ・研究会参加メンバーの決定</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>・第2回研究会 アンケート・ヒアリング実施要領の策定</td> </tr> <tr> <td>6月14日</td> <td>・第3回研究会 ヒアリングのためのワーキンググループ発足とアンケート調査票策定 ・アンケート調査実施・回収・集計</td> </tr> <tr> <td>7月12日</td> <td>・第4回研究会 アンケート実施結果概要報告 ・ヒアリング実施</td> </tr> <tr> <td>8月23日</td> <td>・第5回研究会 アンケート結果報告、ヒアリング報告 ・ヒアリング実施</td> </tr> <tr> <td>9月13日</td> <td>・第6回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ実施要領の策定 ・ヒアリング実施</td> </tr> <tr> <td>10月11日</td> <td>・第7回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>・第8回研究会 ケーススタディ</td> </tr> <tr> <td>12月13日</td> <td>・第9回研究会 ケーススタディ</td> </tr> <tr> <td>2007年1月17日</td> <td>・第10回研究会 「協働の強化書」編集方法策定 ・「協働の強化書」編集 事例から論点抽出</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>・第11回研究会 「協働の強化書」編集作業報告</td> </tr> <tr> <td>3月29日</td> <td>・第12回研究会 研究会活動の成果の確認</td> </tr> </table>		2006年4月12日	・第1回研究会 運営方法の策定とヒアリング対象事業の検討 ・研究会参加メンバーの決定	5月17日	・第2回研究会 アンケート・ヒアリング実施要領の策定	6月14日	・第3回研究会 ヒアリングのためのワーキンググループ発足とアンケート調査票策定 ・アンケート調査実施・回収・集計	7月12日	・第4回研究会 アンケート実施結果概要報告 ・ヒアリング実施	8月23日	・第5回研究会 アンケート結果報告、ヒアリング報告 ・ヒアリング実施	9月13日	・第6回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ実施要領の策定 ・ヒアリング実施	10月11日	・第7回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ	11月15日	・第8回研究会 ケーススタディ	12月13日	・第9回研究会 ケーススタディ	2007年1月17日	・第10回研究会 「協働の強化書」編集方法策定 ・「協働の強化書」編集 事例から論点抽出	2月14日	・第11回研究会 「協働の強化書」編集作業報告	3月29日	・第12回研究会 研究会活動の成果の確認
2006年4月12日	・第1回研究会 運営方法の策定とヒアリング対象事業の検討 ・研究会参加メンバーの決定																									
5月17日	・第2回研究会 アンケート・ヒアリング実施要領の策定																									
6月14日	・第3回研究会 ヒアリングのためのワーキンググループ発足とアンケート調査票策定 ・アンケート調査実施・回収・集計																									
7月12日	・第4回研究会 アンケート実施結果概要報告 ・ヒアリング実施																									
8月23日	・第5回研究会 アンケート結果報告、ヒアリング報告 ・ヒアリング実施																									
9月13日	・第6回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ実施要領の策定 ・ヒアリング実施																									
10月11日	・第7回研究会 ヒアリング報告、ケーススタディ																									
11月15日	・第8回研究会 ケーススタディ																									
12月13日	・第9回研究会 ケーススタディ																									
2007年1月17日	・第10回研究会 「協働の強化書」編集方法策定 ・「協働の強化書」編集 事例から論点抽出																									
2月14日	・第11回研究会 「協働の強化書」編集作業報告																									
3月29日	・第12回研究会 研究会活動の成果の確認																									

事業名	NPO経営相談
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	NPO・市民活動団体の運営上の課題解決をめざす。
成果	今年度も加藤代表理事が、多様な経営相談に対応した。会計、資金調達、起業など、一般的なセミナーなどでは解決しない、個別性の高い相談に対する窓口として重要なサービスであり、有効活用されている。また継続的な相談につながっているものも出てきている。今後の個別コンサルティング型の事業の展開のヒントを探りたいところであり、告知の工夫は必要である。
実施概要	<p>アドバイザー:加藤哲夫</p> <p>相談料:会員 2,000円、非会員 2,500円</p> <p>実施状況 合計 15件:18名 (NPO 11 / 個人 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/24(月) 2件:2名 (NPO 2) ・8/25(金) -件:-名 ・9/15(金) -件:-名 ・10/13(金) 4件:4名 (NPO 4) ・11/20(月) 3件:3名 (NPO 1 / 個人 2) ・12/21(木) 2件:3名 (NPO 1 / 個人 1) ・1/22(月) -件:-名 ・2/20(火) 1件:3名 (NPO 1) ・3/20(火) 1件:1名 (個人 1) ・4/20(金) 1件:1名 (NPO 1) ・5/23(水) -件:-名 ・6/19(火) 1件:1名 (NPO 1)

事業名	平成18年度地球環境市民大学校研修業務北海道・東北ブロック「環境NGOのための組織マネジメント講座」	
主催	独立行政法人 環境再生保全機構	
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>環境NPO/NGOが持続可能な社会を目指し、組織として継続的に活動し成果をあげるためにはマネジメントが不可欠となる。同時に、時代や社会のニーズを正確にとらえ、成長する組織となるためにはイノベーションを起こしていく姿勢も必要である。</p> <p>そこで本講座では、個々の参加者が活動の中期見通しをたてられる力や、事業開発力を身につけることで、組織運営力の全体像を把握し、マネジメント力を身につけることを目的とする。</p> <p>また、これから活動の中核を担う次世代人材に着目し、受講対象者の中心として設定することで、環境NPO/NGOにおける次世代の人材育成も目的とする。</p>	
成果	<p>・ ゲストや参加者の活動事例を効果的に取り入れながら、2日間を通してマネジメントに必要な要素をバランスよく伝えることができた。</p> <p>・ ワークショップとレクチャーの組み合わせで、参加者はそれぞれの活動を題材により実践的に学ぶ機会となった。講座内容に対する評価もほぼ全員が「とても良かった」「良かった」としている。参加者にとっても満足度の高い講座を実施することができ、事業目的を達成できた。</p> <p>・ 参加者の属性をみるとNPO/NGOの中核となり活動している人が大半をしめた。そのため、グループワークでは、お互いの課題共有や意見交換が活発に行われ、気づきの高いより充実した講座を実施できた。</p> <p>・ 20代～30代が参加者の4割近くを締め、環境NPO/NGOにおける次世代人材育成の機会を提供できた。</p> <p>・ 山形で活動する支援団体3団体の協力を得て、円滑な講座運営をすることができた。さらに、2団体については講座に参加していただいたことで、開催地である山形地域での支援組織の力づけにもなった。</p> <p>・ 1日目終了後に当センターの自主事業として「交流会」を設けた。参加者同士の活動PRが活発に行われ、交流や情報交換の場を提供できた。</p>	
実施概要	<p>12/9 1日目 課題解決のための戦略づくりと仕組みの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境NGO/NPOの基礎 ・ 事例紹介 活動とマネジメント(2団体) ・ 計画づくり - 中長期から具体的事業まで ワークショップ 計画をつくってみよう ・ 戦略、計画づくりへのアドバイス <p>12/10 2日目 効果的な組織運営:人・モノ・お金などのやりくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の課題から効果的な組織運営を考える ワークショップ 団体の課題を確認しよう ・ 組織運営へのアドバイス ・ 地球環境基金の紹介と活用法 <p>講座の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例紹介や参加者自身の活動を題材に、2日間の流れの中でマネジメントに必要な力を総合的にカバーする内容で行った。 ・ ワークショップ中心の講座とし、個々の参加者が自らの活動事例を題材にすることで、より実践的な内容で行った。 ・ 開催地の環境パートナーシップ組織3団体(うち2団体参加)の協力を得て、地域の実情を踏まえた内容で行った。 ・ 参加型のグループワークや交流の場を設けることで、参加者同士の情報交換やネットワークを強化する支援を行った。 ・ 地球環境基金の助成金獲得についてワークショップとレクチャーを行い、実務を身に付けると同時に地球環境基金についての理解を深めた。 	

事業名	平成18年度コミュニティビジネス(CB)起業家セミナー	
主催	財団法人 仙台市産業振興事業団	
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>本事業では、下記のA-Dの方々をCBの起業家・事業者に引き上げることがをねらいとした。</p> <p>A 地域でCBを起こしたいと考えている個人(若者～中高年・シニア)やグループ B 地域の社会問題の解決を、ボランティアな活動だけでなく、資金が循環する事業を通して実施したいと考えるNPO C 本業をいかした収益性もある社会貢献事業を展開したい・NPO的事業を実施したい・地域密着型事業を展開したいと考える企業 D NPOのノウハウや先駆性と企業の持つ専門性・組織力を生かし、あたらな生活創造事業を展開したいと考えるNPOと企業</p>	
成果	<p>入門編の開催で、コミュニティビジネス(以下、CB)に関心を持つ層を掘り起こすことができた。</p> <p>さらには、CBの主体となる考え方とともに、組織や法人格について情報提供できた。</p> <p>シニア/中高年編では、CBの事業イメージを提示するとともに、年齢や経験を活かした起業、経験やノウハウを生かした起業を提示することができ、CB理解が進んだ。</p> <p>起業編では、起業を果たした人からまもなく起業しようとする人まで、確実にその歩みを進める支援ができた。起業前を50点、起業を100点とした際の平均点は75点に上ることがアンケートでも明らかになった。</p> <p>事業を協働で実施することにより、既存の支援メニューや関連講座などの情報提供をとおし、効果的な支援を実施することができた。</p> <p>事業に継続したスタッフが係わることで、効果的な支援が実施できた。(信頼感が高まり、日常の相談が気軽にできた。)</p> <p>講座を参加型で、また交流の要素を含んで実施したことから、受講生同士の情報交換や連携が進んだ。</p>	
実施概要	<p>シニア/中高年編(7月) 1回実施 定員:40名、出席者:58名、申込者:67名 中高年世代の経験が生きる起業とは 講義+ワークショップ</p> <p>入門編(7月)1回実施 定員:50名、出席者:52名、申込者:82名 事例別事例紹介 + CB概論 + 思いの棚卸ワークショップ</p> <p>起業編(9月) 合計7回実施 定員:20名、出席者:27名、申込者:38名 第1回 CBの本質と概論+事業理念の構築 < 思いの棚卸作成 > 第2回 具体事例の研究+事業の骨格の確立 < 事業モデル作成A > 第3回 CBの財務と会計・経営資源の調達 < 事業モデル作成B > 個人カウンセリング 1名あたり×約1時間 プチ企画実践(各自実践) 交流会 過去の受講生も対象に含む 内容:事業プランのプレゼンテーション+交流会 第4回 CBの経営ノウハウ < 事業モデル作成C > 個人カウンセリング 1名あたり×約1時間 最終事業モデル案の提出</p> <p>受講生交流と支援強化のために、受講生メーリングリストを設置する。 また、受講生へのアドバイス・紹介・相談などのサポートについては3月まで実施した。</p>	

事業名	伝えるコツを身につけよう NPOのための広報スキルアップセミナー	
主催	NPO広報力向上委員会	
協力	特定非営利活動法人日本NPOセンター 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>NPO広報力向上委員会では、「うまく伝える」ということがきっかけになって、日本のさまざまなNPOの活動が、もっと広がったり、盛り上がったりすることを願って、広報力やコミュニケーション力をアップさせるためのヒントをまとめた冊子「伝えるコツ」を作成した。</p> <p>本セミナーでは、その冊子を使い、NPOの広報の支援に関わるスタッフの支援する力の向上を期待した、広報力アップのトレーニングを実施する。</p>	
成果	<p>広報の専門家による「伝えるコツ」セミナーの開催は、大きな反響があった。何より、普段のコマーシャルの中に、たくさんの広報のヒントがあるということを実感することができたセミナーになったのではないか、と思われる。</p> <p>また、電通のような企業でも、自分たちのスキルを活かした社会貢献がこういう形できるといことを見せてくれることは、企業人に対するアピールしても効果的であった。</p>	
実施概要	<p>日時：2007年3月4日(日)</p> <p>場所：エル・パーク仙台 5F セミナーホール</p> <p>参加者：48名（他、運営スタッフ8名、ゲスト2名）</p> <p>参加費：2,000円(会員：1,000円)</p> <p>内容：第1部「伝えるコツをやってみよう part1」 第2部「伝えるコツをやってみよう part2・3」 第3部「NPOの広報物を通して学ぼう」</p>	

事業名	名取市市民活動支援センター業務委託	
委託者	名取市(総務部男女共同・市民参画推進室)	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>名取市市民活動支援センターは、公益活動をしている団体や個人、これから活動しようとする人たちのための拠点施設として、名取市が整備し平成18年8月にオープンした。 当センターから定期的に相談員を派遣することで、支援センターの相談機能の基礎を築くとともに、各種講座開催などを通じ、施設の周知や活性化を図るための支援を行うことを目的とする。</p>	
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. これから活動を始めようとする方、既に活動を行っている方へ、NPOの基本知識を伝えることができた。 2. 大交流会を通じて、名取市で活動している市民活動団体同士の情報交換、交流を促進できた。 3. 個別相談では、具体的アドバイスを行い、団体の課題解決につなげることができた。 4. 名取市市民活動支援センターの支援メニューや活用方法を広く知ってもらうことができた。 	
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談員派遣業務 平成18年度8月から毎週土曜日、支援センターに相談員1名を派遣し、相談対応を実施 2. 各種講座等開催業務 <ul style="list-style-type: none"> < 18年度 > NPO入門講座「NPO寺子屋」 10月21日(土) 参加者:21名 講師:遠藤孝志、渡辺幸代 11月25日(土) 参加者:10名 講師:遠藤孝志、小松州子 NPO広報講座「伝わらなきゃイミがない! NPOのPR大作戦」 2月10日(土) 参加者:13名 講師:小松州子、渡辺幸代 名取市ボランティア・市民活動大交流会 3月10日(土) 参加者:46名 前座講義「支援センターの育て方」 講師:加藤哲夫 < 19年度 > どんどん元気になる市民活動術 第1回「はじめよう、つづけよう! 活動おこしのコツ!!」 6月23日(土) 参加者:20名 講師:加藤哲夫 3. その他 市民活動団体との意見交換会出席(主催:名取市) < 18年度 > 1月12日 	

事業名	シニア活動推進連続セミナー
主催	仙台市(企画市民局地域政策部地域活動推進課)
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	「団塊の世代」が定年退職後、社会(地域や家庭)にソフトランディングするための支援が必要となる。「シニア活動推進セミナー」は、既に仙台市内において定年前後の世代、更に高齢の世代が中心となって活動しているNPOや、シニア層の受け入れ可能な各種市民活動グループなどのリーダー層を主な対象とし、シニア層、団塊世代の社会参加を促進させるための知識の提供、情報交換、ネットワークの形成などを目的とし実施する。
成果	<p>セミナーを受講した団体の多くが、様々な活動事例の紹介や他団体との交流の機会を求めていることがわかった。またアンケートの結果から、ボランティアの集め方や団体運営の方法、広報の仕方などについて知りたいという団体のニーズを知ることができた。町内会や同世代の人々との連携を望む声もあった。</p> <p>今回のセミナーで得られたシニア活動のニーズや課題は、シニア世代の今後の活動の支援策として2007年7月に開設を予定している「シニア活動支援センター」の運営に活用していくことが可能だと考える。</p> <p>また、地域に根ざした活動をしている市民活動団体と市民センターをつなぐことが、町内会や地域コミュニティの基盤強化につながり、さらにはシニア世代が社会的役割を果たせる機会づくりになることがわかった。このことは、仙台市のコミュニティビジョン事業で検討しているなかにも反映できる情報であり、シニア活動支援センターにおける事業のなかにも盛り込むべきテーマと考える。</p>
実施概要	<p>第1回:2月26日(月)午後 <市民活動シアター> 参加者数:13名 先進事例の紹介(講師:NPO・FUSION長池理事長 富永一夫さん) 質疑応答</p> <p>第2回:3月6日(火)午後 <セミナーホール> 参加者数:15名 先進事例の紹介(講師:コミュニティサポート神戸理事長 中村順子さん) 質疑応答</p> <p>第3回:3月23日(金)午後 <セミナーホール> 参加者数:18名 次年度以降の取り組みについての説明 (仙台市企画市民局地域政策部地域活動推進課 市民活動支援室長 相沢良雄さん) 仙台市におけるシニア活動推進の取り組みについて・報告 (特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事 加藤哲夫) 情報交換会</p>

事業名	セダードサロン	
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	NPOの活動上の課題の一つである「ネットワーク形成」を促進し、交流・力づけのための場づくりを行うことで、NPOを支援し地域課題の解決につなげる。	
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. NPOのネットワーク化が進んだ。 2. せんだい・みやぎNPOセンターの活動内容をNPOや市民に知ってもらうことができた。 3. 市民活動に係わる情報交換が活発になった。 4. 仙台市、宮城県の出前講座を利用したことで、NPOと行政、双方向の情報交換ができた。 5. NPOの力づけになった。 	
実施概要	<p>2007年1月から6月まで6回実施。</p> <p>1月のセダードサロン 「新春NPO大交流会」 開催日:1月24日(水) 参加者:24人</p> <p>3月のセダードサロン 「障害者福祉施策の変遷と障害者自立支援法」について 開催日:3月9日(金) 参加者:10人 みやぎ出前講座を利用(担当:宮城県保健福祉部障害福祉課)</p> <p>4月のセダードサロン 「もっと知りたい! 行政の予算のしくみと作り方」 開催日:4月18日(水) 参加者:15人 みやぎ出前講座を利用(担当:総務部財政課) 仙台市財政局財務課職員による説明</p> <p>5月のセダードサロン 「実践! NPOで事業を回すコツ」 開催日:5月22日(火) 参加者:18名 ゲスト:谷村 智康氏 ((財)仙台市産業振興事業団 プロジェクト開発ディレクター)</p> <p>6月のセダードサロン 「NPO、行政の10年後を考える」 開催日:6月22日(金) 参加者:16名 ゲスト:新川 達郎氏 (せんだい・みやぎNPOセンター 理事)</p> <p>* なお、2006年7月から12月までは、仙台市市民活動サポートセンターの移転業務などの兼ね合いにより、実施することができなかった。</p>	

事業名	せんだいCARES2006	
主催	せんだいCARE2005実行委員会 (共催)	
共催	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター (& 仙台市)	
目的	せんだいCARES2005は、2003年よりまちづくりキャンペーンとして毎年11月の約1ヶ月間開催している。仙台市内で活動しているNPOの活動を「仙台のお世話をしている(CAREをしている)」と考え、NPOと一緒に企業市民や一般市民を巻き込んで一緒にCAREしましょうというまちづくり企画。	
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加NPO数は29団体、協賛企業は44社、広報協力約100団体・企業、パンフレットも25,000部と広範な広報展開ができた。 2. 資金調達面では、「ドネーションチケット」に加えて、七夕期間中に行なったシャッター代行サービスにより13万円近くを寄付金を集め、70%の自己資金調達率となった。 3. 昨年に引き続きキャンペーン初日に「杜の都のごみゼロ作戦」を実施したのか。また、大学生が参加し、NPOの巨漢活動のお手伝いをする新企画「ケアーズ・ケアーズ」を実施し、いずれも好評を博した。 	
実施概要	<p>事業名：せんだいCARES2006 期間：2006年10月28日(土)～12月3日(日) 場所：仙台市内各所 対象：仙台市民 開催イベント数：35(実行委員会自主企画、エル・パークフォーラム含む)</p> <p>イベント名：杜の都のごみゼロ作戦 日時：2006年10月28日(土)10:00～12:00 場所：せんだいメディアテーク前・市内中心部 対象：まち美化活動に関心のある仙台市民や企業・NPO 参加者数：128名(昨年比：20%増) 成果：企業が社会貢献活動として参加するようになった。家族での参加も増え、ゴミの総合計重量は76kgとなった。</p> <p>イベント名：NPO博覧会 日時：2006年10月28日(土)12:00～16:00 場所：せんだいメディアテーク・オープンスクエア 対象：仙台市民(NPOの活動やボランティアに関心のある方など) 参加者数：1000名 成果：市内で活動する17のNPOが参加。団体同士の情報交換の場となった。</p> <p>イベント名：ボランティア相談cafe 日時：2006年11月26日(日) 12:00～16:00 場所：仙台市市民活動サポートセンター 対象：仙台市民(NPOの活動やボランティアに関心のある方など) 参加者数：参加NPO：11団体 来場者：のべ77名 成果：ボランティア登録数が24名となり、少数の来場者でありながら、各団体とも100%のボランティア獲得となった。</p> <p>イベント名：CARES(ケアーズ)・ケアーズ 日時：2006年10月28日(土)～12月3日(日) 場所：参加NPO7団体の活動拠点・イベント会場など 対象：高校生・大学生 参加者数：のべ14名(2名は高校生) 成果：学校とは違うNPOの現場体験を通して、地域の課題やNPOの活動を学ぶことができたことと参加した学生から好評を得た。また、受け入れたNPOからも、新たな気づきがあったなど、全ての団体が次回も受け入れたいということだった。</p> <p>イベント名：七夕チャリティ<写真撮影代行サービス>ケアーズ・ケアーズ 日時：2006年8月6日(日)～8月8日(火) 場所：一番町・DATE ONEビル前 対象：七夕観光客 ボランティア数：のべ28名 成果：3日間で13,395円の寄付を集めることができた。実行委員自らが寄付集めの現場に立ったことで、からだを張って寄付を集める大切さを学ぶことが出来た！</p>	

事業名	NPO・企業のパートナーシップセミナー 元気な地域づくりと信頼される企業	
主催	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター サポート資源提供システム運営委員会	
共催	日本財団	
後援	社団法人宮城県情報サービス産業協会	
目的	地域企業とNPOに、CSRの基本について理解いただき、今後の取り組みに寄与することを目指した。	
成果	参加者41人。ある程度新しい企業の方も参加いただいて、つながりが増えたが、まだまだCSRは浸透していないという印象であった。今後の継続的な取り組みを必要としている。	
実施概要	<p>日時:2007年11月16日(木) 13:30開会～16:30閉会</p> <p>場所:仙台市市民活動サポートセンター 6階 セミナーホール</p> <p>参加費:無料 参加者:41名</p> <p>基調講演:元気な地域づくりと信頼される企業(55分) 川北秀人さん(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)</p> <p>パネルディスカッション(55分) <パネリスト> 浅見紀夫さん(株式会社ノ蔵名誉会長) 川村志厚さん(経営デザイン研究所代表) 紅邑晶子さん(せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長) <コーディネーター> 川北秀人さん(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)</p> <p>プレゼンテーション:「Canpanが送るCSR総合サイト “CSR+”誕生!(30分) 町井則雄さん(日本財団情報グループCanpanチーム)</p> <p>情報交換会(30分)</p> <p>総括 久しぶりにサポート資源提供システム運営委員会と一緒に企業向けのセミナーを開催した。 日本財団様、IIHOEの川北様の強力を得て、なかみの濃いセミナーになったと思う。 ただし、地元中小企業の多数の参加を得るにはいたらなかった。継続的な関わりと働きかけ方が必要であり、センターとしては人脈はあるので、忙しい中、マメに取り組めるかどうかがかぎである。</p>	

事業名	東北地区NPO支援センター連絡会議	
主催	東北労働金庫	
企画・実施	東北労働金庫、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>東北ろうきんは、東北地区全体を対象にCSRを推進するためパートナーシップ制度を手始めに取り組んでいくが、そのためには東北六県の支援センターとの協働による事業実施体制が必要であり、せんだい・みやぎNPOセンターとしてコーディネートしていく。</p>	
成果	<p>3月に初回の東北地区NPO支援センター連絡会議を開催、6月から協議をスタート、パートナーシップ制度の構築に向けて、事業を展開中です。</p>	
実施概要	<p>2007年3月2日(金) - 3日(土) 東北地区NPO支援センター連絡会議開催 場 所:東北ろうきん本部 会議室 内 容:東北ろうきんより説明 青森と岩手のNPOファンドとNPOバンクについて 参加団体:市民活動・県民活動資金サポート研究会、いわてNPOセンター、あきたパートナーシップ、山形創造NPO支援ネットワーク、ふくしまNPOネットワークセンター、杜の伝言板ゆるる、当センター</p> <p>2007年6月1日(金) - 2日(土) 2007年度第1回東北地区NPO支援センター連絡会議開催 場 所:東北ろうきん会議室 内 容:ろうきんパートナーシップ制度の概要説明 参加団体紹介 協働環境調査説明会 NPOの情報開示セミナー 参加団体:SAN Net青森、いわてNPOセンター、あきたパートナーシップ、あきたNPOネットワーク、山形創造NPO支援ネットワーク、ふくしまNPOネットワークセンター、杜の伝言板ゆるる、当センター</p>	

事業名	「NPO情報ライブラリー」情報発信支援事業	
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	<p>NPOや市民活動団体が、多くの人々に認知され、地域社会との連携を深めていくためには、自分たちの活動の情報を積極的に公開していくことが大切である。しかし、多くの人に活動の情報を発信していくためには、コストや人手がかかる。</p> <p>「NPO情報ライブラリー」は、NPO・市民活動団体のみなさんから活動に関する情報をお預りして、地域の市民・企業など社会一般に広く公開・発信する情報発信支援事業である。</p> <p>NPO情報ライブラリーに登録いただいた情報は、団体ごとにファイリングされ、せんだい・みやぎNPOセンター事務局内で公開される他、一部の情報はインターネット上でも広く公開される。</p>	
成果	<p>前年度に引き続き、ファイリングによる団体資料公開(センター事務局内)とインターネットによる情報公開を組み合わせた団体情報発信支援を行った。</p> <p>2007年6月現在の登録団体数は、133団体(前年同時期144団体)となった。サポート資源提供システムによる資源提供や、地域貢献サポートファンドみんなによる資金提供により、新規団体登録が増加したのに対して、情報更新が行われず、登録削除となった団体もあった。</p> <p>ホームページへのアクセス件数は135,475件(ページビューカウント)となり、前年度の120,623件と比べて1.1倍となった。今後とも、より多くの方々に地域のNPOの情報を届けていくことができるように、情報の質と量の確保に努めたい。</p>	
実施概要	<p>NPO情報ライブラリー http://www.minmin.org/Library/</p> <p>ライブラリー登録団体一覧 http://www.minmin.org/npo/n-index.php</p>	

事業名	情報化推進事業																																																					
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																																																					
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																																																					
目的	せんだい・みやぎNPOセンターの活動を幅広く社会に発信する。 センターの情報化を進め、情報発信力の向上を目指す。																																																					
成果	<p>ホームページによる情報発信の傾向としては、センターの各種情報へアクセスの中でNPO情報ライブラリー、サポート資源提供システム・みんなファンドへのアクセス件数は前年度比1.1～1.2倍程度の増加であった。サイト全体としては前年度比で、総訪問者数が約1.2倍、総閲覧ページ数が約1.1倍と微増の結果となった。</p> <p>2000年度の開設から6年を迎え、ストック情報が蓄積され、時より過去情報へのアクセスも少なくはない。年度末までにホームページの改修を終え、新しいホームページがオープンした。</p>																																																					
実施概要	<p>トップページに設置しているカウンターによるアクセス数は、以下の通りとなった。</p> <p>年度内アクセス数 37,144件(1日あたり約93.8件/日) 累積アクセス数 182,868件(2000年4月より)</p> <p>トップページへの1日あたりのアクセス数は 2000年度(約23件/日)、2001年度(約46件/日)、2002年度(約60件/日)、 2003年度(約81件/日)、2004年度(約87.8件/日)、2005年度(約98.8件/日)と</p> <p>また、サーバーアクセス解析により、 (1)月別訪問者数(延べ)、閲覧されたページ数(延べ) (2)ページの内容別の閲覧ページ数(年間延べ)を集計したのが下表である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>*各月のサイトの「のべ訪問者数」と 閲覧されたのべページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>のべ訪問者数</th> <th>閲覧された のべページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2006/7</td><td>21,391</td><td>49,608</td></tr> <tr><td>2006/8</td><td>15,374</td><td>46,634</td></tr> <tr><td>2006/9</td><td>15,739</td><td>39,150</td></tr> <tr><td>2006/10</td><td>18,540</td><td>43,534</td></tr> <tr><td>2006/11</td><td>18,236</td><td>43,631</td></tr> <tr><td>2006/12</td><td>21,762</td><td>48,027</td></tr> <tr><td>2007/1</td><td>18,820</td><td>42,503</td></tr> <tr><td>2007/2</td><td>19,687</td><td>48,521</td></tr> <tr><td>2007/3</td><td>18,601</td><td>39,448</td></tr> <tr><td>2007/4</td><td>17,130</td><td>36,969</td></tr> <tr><td>2007/5</td><td>19,201</td><td>46,203</td></tr> <tr><td>2007/6</td><td>27,633</td><td>50,573</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>232,114</td> <td>534,801</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>*ページ内容ごとの閲覧のべページ数の集計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>閲覧ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トップページ</td><td>117,155</td></tr> <tr><td>NPO情報ライブラリー</td><td>135,475</td></tr> <tr><td>センター団体紹介</td><td>7,583</td></tr> <tr><td>サポート資源提供システム ・みんなファンド</td><td>34,872</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>当センターのホームページを改修し、情報発信力の向上を目指して、2006年度内に準備を進め、2007年7月より、新しいHPを開設した。また、従来より契約してきたサーバーの業者を交換、より安定的な運用体制になった。</p> <p>また、5月8日には、日本財団公益コミュニティサイトCanpanの協力を得て、ブログセミナーを開催。NPOの情報発信力向上のための支援を行った。</p> <p>2007年度より、改修したHPのトップページでは、センターの公式ブログ、理事のブログ、みんなファンド事務局ブログ、せんだいCARESブログへのリンクを表示、よりタイムリーな情報発信を試みていく。</p> <p style="text-align: center;">センターの公式ブログ http://blog.canpan.info/minmin/</p>			のべ訪問者数	閲覧された のべページ数	2006/7	21,391	49,608	2006/8	15,374	46,634	2006/9	15,739	39,150	2006/10	18,540	43,534	2006/11	18,236	43,631	2006/12	21,762	48,027	2007/1	18,820	42,503	2007/2	19,687	48,521	2007/3	18,601	39,448	2007/4	17,130	36,969	2007/5	19,201	46,203	2007/6	27,633	50,573	合計	232,114	534,801		閲覧ページ数	トップページ	117,155	NPO情報ライブラリー	135,475	センター団体紹介	7,583	サポート資源提供システム ・みんなファンド	34,872
	のべ訪問者数	閲覧された のべページ数																																																				
2006/7	21,391	49,608																																																				
2006/8	15,374	46,634																																																				
2006/9	15,739	39,150																																																				
2006/10	18,540	43,534																																																				
2006/11	18,236	43,631																																																				
2006/12	21,762	48,027																																																				
2007/1	18,820	42,503																																																				
2007/2	19,687	48,521																																																				
2007/3	18,601	39,448																																																				
2007/4	17,130	36,969																																																				
2007/5	19,201	46,203																																																				
2007/6	27,633	50,573																																																				
合計	232,114	534,801																																																				
	閲覧ページ数																																																					
トップページ	117,155																																																					
NPO情報ライブラリー	135,475																																																					
センター団体紹介	7,583																																																					
サポート資源提供システム ・みんなファンド	34,872																																																					

事業名	せんだい・みやぎNPOセンターニューズレター みんなリニューアル発行	
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	10周年に向けて、仙台の市民活動の歴史を俯瞰し、次のステップへの礎とする。また、当センターのオピニオンを発信することで、せんだい・みやぎにおける適切な世論形成推進を図ることを目的としリニューアルを行う。	
成果	<p>後</p> <p>1. せんだい・みやぎNPOセンターが10周年を迎えるにあたり、10年間の活動の実績や今後の課題を検証するための材料を、みんなの誌面との連携により効果的に得ることができた。特に、座談会においては、5つのテーマで、それぞれ仙台で活躍するあわせて15の市民活動団体に10年間の活動の軌跡などについてお話をうかがうことが出来た。仙台の市民活動の10年、そしてせんだい・みやぎNPOセンターが果たしてきた役割や今後取り組むべき課題について考えるきっかけを得ることができた。</p> <p>2. 代表理事オピニオンコラムや常務理事エッセイなどを通して、せんだい・みやぎNPO</p>	
実施概要	<p>配布対象：会員、評議員、サポート資源提供システム関係者、県内外NPO支援センター、県内公共施設、事業関係者など。</p> <p>発行頻度：2ヶ月に1回、年5回(2006年12月～2007年8月)</p> <p>価格：無料</p> <p>内容：全8ページ 突撃！こちらNPO取材班(NPOで活躍する人物にインタビュー) みんな座談会(仙台で活動しているテーマ別NPOと活動の10年を振り返る) 代表理事 加藤・大滝のオピニオンコラム 外部寄稿コラム(センターの事業の関係者からの寄稿) スタッフNPO体験記(スタッフによるNPOの活動取材) 紅邑・黒澤 常務理事エッセイ 事業のお知らせ、編集後記など</p> <p>発行・編集体制：編集班3名および座談会担当各2名×5班(座談会の統括：加藤理事)</p> <p>レイアウト・デザイン：外注(メディアデザイン真山正太さん)</p> <p>発行部数：約1000部(色紙に黒インクで簡易印刷)</p> <p><リニューアル前> vol.52:2006年7月27日発行 vol.53:2006年9月27日発行</p> <p><リニューアル後> vol.1:2006年12月27日発行 みんな座談会：福祉と市民活動の10年 vol.2:2007年2月28日発行 みんな座談会：子どもと市民活動の10年 vol.3:2007年4月25日発行 みんな座談会：人権と市民活動の10年 vol.4:2007年6月27日発行 みんな座談会：今後10年の市民活動を考える</p>	

事業名	書籍販売部「みんなん堂」	
主催	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	NPO・市民活動に関心のある方が、関連資料を入手しやすいように、図書の販売を行っている。	
実施概要	<p>センターで直販を行っている他に、ホームページに「書籍申込フォーム」を掲載し、FAX・メールでの注文も承っている。</p> <p>取扱書籍 53種</p> <p>内訳 ・センター関連書籍 15種</p> <p>・運営・マネジメント関連書籍 11種</p> <p>・NPO基礎関連書籍 6種</p> <p>・報告書関連書籍 5種</p> <p>・協働関連書籍 3種</p> <p>・その他書籍 13種</p>	

事業名	まち美化に関する市民活動のための支援事業業務
委託者	仙台市(環境局廃棄物管理課)
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
目的	本事業は8年目を迎え、昨年に引き続き「まち美化達人・お役立ち連続セミナー」を実施し、また前年度に行なったセミナーの中間報告会を実施することで、まち美化に関わる市民のスキルアップの機会と交流の場を提供する。アレマ新聞の発行に際し、事前の編集会議で内容や取材のポイントなどの確認を行ない、より読みやすい紙面づくりを実現する。
成果	「まち美化報告会」とまち美化達人になるためのお役立ち・連続セミナーでは、いずれも活動者の報告をしていただいた。具体的な成果や取り組みについてお話しいただき、参加者にとっても有意義な情報となっていたようだ。
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・春:平成18年5月27～平成18年6月18日 参加人数:2,317人 ・秋:平成18年9月23～平成18年10月15日 参加人数:4,628人 (キャンペーンの企画・調整、報告書の作成) 2. アレマ隊員養成出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年10月24日:仙台市精神保健福祉団体連絡協議会 ・平成18年10月24日:仙台市五橋中学校1年生 (企画・講師・アドバイス) 3. まち美化達人たちの「まち美化報告会」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年9月24日 ・エル・パーク仙台 セミナーホール 参加人数:24人 (企画・講師・コーディネート) 4. まち美化達人になるためのお役立ち・連続セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年2月24日・3月10日 (入門編) 参加人数:31人、26人 ・平成19年3月24日 (パワーアップ交流編) 参加人数:34人 ・仙台市役所8階ホール (企画・講師・コーディネート) 5. 仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年9月・平成19年4月(但し制作は19年3月) (企画・取材・原稿作成・編集・レイアウト)

事業名	クリーン仙台推進員平成18年度グループ学習会運営業務
委託者	仙台市(環境局廃棄物管理課)
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
目的	地域で起こっているごみ問題について整理し、問題解決に向けた市民PRの手法などを学習することにより、クリーン仙台推進員のスキルアップを図るとともに、推進員間のネットワーク形成を目指す。
成果	(1)今年度から研修プログラムを初級編、応用編に分割強化した。 (2)参加市民の表現力、広報力、問題解決力は確実に増進している。 (3)環境事業所職員の研修にも引き続き貢献した。 (4)クリーンメイト制度の導入後、登録者が増え、成果が上がっている。
実施概要	<p>初級編</p> <p>第1回グループ学習会 日 時:平成18年5月23日(火)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加:40人 内 容:取り組みのための考え方を学ぼう!</p> <p>第2回グループ学習会 日 時:平成18年6月20日(火)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加:32人 内 容:「ご近所の底力」をつけよう!問題解決思考トレーニング</p> <p>第3回グループ学習会 日 時:平成18年7月25日(火)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所二日町仮庁舎 7階 会議室 参加:27人 内 容:表現力を磨こう!ポスター制作実習</p> <p>応用編</p> <p>第1回グループ学習会 日 時:平成18年5月26日(金)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加:43人 内 容:考え方の基本と参加者の実践から学びあうセッション</p> <p>第2回グループ学習会 日 時:平成18年6月23日(金)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加:42人 内 容:取り組み事例発表と研究大会</p> <p>第3回グループ学習会 日 時:平成18年7月27日(木)午後1時30分～3時30分 場 所:仙台市役所二日町仮庁舎 7階 会議室 参加:29人 内 容:地域での取り組みを進めるために</p> <p>今後の課題・提案</p> <p>(1)交流と情報共有機会創出の必要性を再認識した。 (2)実践的なノウハウとツールを紹介する冊子、ビデオ、DVDの制作と配布。 (3)簡略化した形での、グループ学習会の各区単位の開催</p>

事業名	平成18年度「市民トラスの森」モデル実験企画運営補助業務委託
委託者	仙台市(建設局緑化推進課)
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	<p>仙台市では、「この森を残していきたい」「このような森にしたい」などの思いから市民から愛され誰もが楽しめる森づくりを進める上で、市民が主体となり積極的に緑地の維持管理および活用などを行う市民参加システムの構築と組織づくりを目指している。</p> <p>平成17年度に市が開催した「市民の森講座」に参加した市民を中心に、平成18年4月に組織された「せんだい・市民の森を創る会」の活動をモデル実験として捉え、今後本市の緑地の維持管理及び活用のあり方について検討を行う。</p>
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保存緑地を活用した市民による森づくりの第一番目の事例づくりとなった。 2. 森の保全及び活用が図られ、継続的に自主活動できる個人及び団体の支援、育成を行うことができた。 3. 団体の実活動が緑地維持管理や活用のあり方を検討する際の課題を明らかにし、具体的な解決策を生み出した。
実施概要	<p>モデル実験のフィールド:放山保存緑地(99.91ha)の一部、面積は約2.5ha。 (仙台市青葉区荒巻字仁田谷地63-1)</p> <p>(1)緑の保全を担う市民活動団体の支援 「せんだい・市民の森を創る会」が仙台市有地である放山保存緑地での保全活動について支援をする。 また、同会が主体となり緑地活用方策として、一般市民30名程度を対象に下草刈り体験や自然観察などを取り入れたイベントを開催すること。</p> <p>団体の支援内容について 団体としての運営は初年度にあたることから、今後の自立した活動をめざしながら、組織としての活動基盤づくりのために、下記の点を重点に団体支援にのぞんだ。 ・機能する事務局体制を整備する ・緑地保全活動を支える人としくみづくり ・関係機関および協力団体との関係づくりを促す 月1回の定例会への参加や役員会へのオブザーバー参加を通して、必要に応じて助言と情報提供を行った。また、市内の異なるフィールドで緑地保全活動に取り組んでいる団体への活動協力なども行い、人的交流を促した。 情報発信支援については、2回発行した広報紙の編集協力を行った。</p> <p>イベントの開催について 市民参加の森づくり「森のシャンデリアで会いましょう！」 日 時:2006年10月29日(日)10:00～14:00 場 所:放山保存緑地内 参加者:25名 内 容:ガイドウォーク、下刈り体験、ミニコンサート&茶話会 前年度に開催した経験をふまえて、会のメンバーが主体的に準備にあたるよう促し、後方支援にあたった。</p> <p>(2)モデル実験を通して、多くの市民が参画できる市民参加システムと、今後、どのような場所での展開が可能か併せて検討していく。</p> <p>平成16年度から17年度にかけて実施した市民による森づくりの取り組みをふまえると、市民による森づくりを実現するためには 活動主体の形成 土地所有者との関係 行政、専門家やNPO等の協力関係の重要性を認識することができた。そこで、「市民による森づくり」のしくみの検討においては、行政と土地所有者と利用者の三者の協定によるケースを想定して、環境整備を検討した。その際に、民有地を主とした里山エリアを対象とする緑地と考えた。 検討案としては、「市民の森」の創出 緑地保全を希望する団体の登録制度(要綱の制定) 登録団体及び活動認証団体への支援策 相談機能の充実 情報発信の強化 など。</p>

事業名	平成18年度「緑の市民ネットワーク」運営管理業務
委託者	仙台市(建設局緑化推進課)
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	<p>市民が主体となって緑を通したまちづくりに関わることができるようにするため、仙台市では、緑に関する情報の受発信、人材の育成と交流、専門知識の習得など総合的な機能を果たしていける市民ネットワークの構築を目指している。</p> <p>そこで、平成17年度に開催した緑づくりに関するシンポジウム及びワークショップに参加し地域での緑活動を実践している市民の方々を中心に、市民ネットワークの組織化に向けた検討・支援を行なっていくものである。</p>
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑の市民活動団体の情報発信と交流の機会を創出した。 2. 新たなに1団体が誕生した。 3. すでに活動している個人・団体や専門家など、緑を通したまちづくりに関心の高い参加者によって、仙台の緑について考え行動していく市民のネットワークの素地を築くことができた。
実施概要	<p>イベントの開催</p> <p>緑づくりに関する統合的な市民組織の立ち上げに向け、様々な緑づくりの市民活動団体間の情報交換、交流の機会を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「街に花と緑を」フリートーク <ul style="list-style-type: none"> 日 時:平成18年11月3日(金・祝) 13:00~15:00 会 場:グリーンハウス勾当台 参加団体:里山ねっと赤坂、将監沼の自然とふれあいを育む会、仙台花と緑の会、せんだい・市民の森を創る会、まち庭くらぶ、ワンダフル仙台 (計:8名) ・「街に花と緑を」フリートーク vol.2 <ul style="list-style-type: none"> 日 時:平成18年12月2日(土) 13:00~15:00 会 場:七北田公園都市緑化ホール 参加団体:グリーンサポーター・クラブ、将監沼の自然とふれあいを育む会、仙台花と緑の会、せんだい・市民の森を創る会、まち庭くらぶ (計:8名) <p>ワークショップの開催</p> <p>昨年の実績により数人が継続して新しく団体をつくりネットワークについて検討してきたが、さらに拡がりのあるものとするため緑の市民ネットワーク組織の立上に向けた検討会を実施するとともに、積極的に緑づくりに取り組もうとする市民に対し助言等の支援を行なう。(計2回)</p> <p>タイトル:「百年の杜づくり」ワークショップ~みんなでつくり緑の輪~</p> <p>日 時:2月25日(日)、3月11日(日)(全2回)13:00~16:00</p> <p>会 場:七北田公園都市緑化ホール</p> <p>対 象:緑の市民活動団体に所属している人</p> <p>2006年2月開催のシンポジウム、ワークショップの参加</p> <p>ね ら い: 団体の情報発信力支援 団体間の交流促進、関係機関との連携強化 2007年始動のきっかけづくり、緑の市民ネットワークの立上</p> <p>参 加 者:12名 (内訳)3個人 4団体:エコライフ利府、せんだい・市民の森を創る会、仙台花と緑の会、まち庭くらぶ(五十音順)</p> <p>情報紙「せんだい百杜通信」の原稿データの作成</p> <p>平成18年6月から平成19年3月の間に計4回、市民が緑づくりに取り組む上でのきっかけづくりや緑化活動の参考となる情報を掲載した情報紙を発行するため、情報を収集の上、原稿データを作成する。</p> <p>情報を収集する際には、緑づくりに積極的な市民を参画させることで、緑の市民ネットワークの組織化のきっかけとなるよう工夫すること。</p>

事業名	サポート資源提供システム																				
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																				
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																				
目的	<p>サポート資源提供システムは、地域のNPO・NGOや市民活動団体、ボランティア団体など(以下、NPO)が必要とする様々な経営資源(物品、パソコン、資金、人材、ボランティア、ノウハウなど)を、開業、各種団体、市民など社会一般から集め、それをNPOに仲介・提供することで、NPOを支援し、地域を元気にするしくみである。</p> <p>また、資金提供を通じて、企業とNPOの新しい関係をつくり、地域社会に対する参加を促進していくことも目的の1つである。このような企業とNPOとのパートナーシップ形成によって、企業活動にとってもNPOの活動にとっても大きなメリットを生み出していくことを目指している。</p>																				
成果	<p>今期(2006.4.1～2007.3.31)は「サポート資源提供システム」の本格運用5年目、その資金提供プログラム「地域貢献サポートファンドみんな(みんなファンド)」の運用4年目となる。</p> <p>2006年度事業の中では、新たにNPO・企業のパートナーシップセミナー事業に取り組んだ。前年度と同様、オフィス什器・備品や事務用品といった「物品等提供」、中古パソコンや周辺機器を提供する「パソコン等提供」、そして「資金提供＝みんなファンド」の3プログラムで資源提供が行われた。年間の実績としては表1に示す通り、のべ111団体に約1,141万円相当の支援を実施することができた。この支援総額は前年度同等となっている。なおシステムの運用当初(2001年9月)からの支援総額の累積は4452.6万円となった。</p>																				
実施概要	<p>サポート資源提供システム http://www.minmin.org/SSS/index.htm</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなファンド http://www.minmin.org/fund/index.htm ・ろうきん地域貢献ファンド http://www.minmin.org/fund/roukin/index.htm ・みやぎNPO夢ファンド http://www.minmin.org/fund/miyagi/index.htm ・NPO情報ライブラリー http://www.minmin.org/Library/index.htm <p>サポート資源提供システム 2006年度 資源提供実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>提供先団体数 (のべ数)</th> <th>提供点数</th> <th>金額換算価値 (*)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物品等提供*</td> <td>66団体</td> <td>705点</td> <td>268万円</td> </tr> <tr> <td>パソコン等提供</td> <td>12団体</td> <td>18点</td> <td>45万円</td> </tr> <tr> <td>資金提供 =みんな ファンド</td> <td>33団体</td> <td>-</td> <td>827.6万円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>111団体</td> <td>-</td> <td>1,140.6万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*)物品・パソコンは一般の中古市場価格にて換算</p> <p>* 物品提供の中には、山林25,735㎡の土地の環境団体に対する寄贈の仲介も1件含まれるが金額換算はしていない</p>		提供先団体数 (のべ数)	提供点数	金額換算価値 (*)	物品等提供*	66団体	705点	268万円	パソコン等提供	12団体	18点	45万円	資金提供 =みんな ファンド	33団体	-	827.6万円	計	111団体	-	1,140.6万円
	提供先団体数 (のべ数)	提供点数	金額換算価値 (*)																		
物品等提供*	66団体	705点	268万円																		
パソコン等提供	12団体	18点	45万円																		
資金提供 =みんな ファンド	33団体	-	827.6万円																		
計	111団体	-	1,140.6万円																		

事業名	仙台市市民活動サポートセンター管理・運営
設置者	仙台市(企画市民局地域活動推進課)
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
目的	<p>多様な市民活動がさらに活発になるように支援を行うとともに、市民・企業・行政の協議のまちづくりを推進していくことを目的とし、仙台市により設置されている。</p> <p>当センターは、中間支援センターとしての実績を活かし、仙台市の市民公益活動の促進、市民参加と協働を推進するため、1999年6月からの受託期間を経て2004年4月から指定管理者として管理・運営を受託している。</p>
成果	<p>開館から7年が経過した市民活動サポートセンターは、施設の老朽化により平成18年9月1日に本町から一番町へ移転した。移転のため8月の一ヶ月は休館としたが、移転準備は専従チームを配置しつつ日常業務と並行して行われた。このような状況下で、これまでのサポートセンターの機能を低下させることなく、利用者に対して安定したサービス提供ができたことは大きな成果である。</p> <p>また、移転後は、立地条件の良さから立ち寄る市民が増えるとともに、地下に新設となった「市民活動シアター」の利用者、企業関係者など新たな層の利用者が増えた。</p> <p>以下、サポートセンターの5つの機能別の成果は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 場の提供 平成18年度の利用者総数は47,881人(前年比116.7% +6,859人)、利用総件数は16,484件(前年比91.3% -1,570人)となった。移転に伴う8月の休館で件数においては、ほぼ一ヶ月分減少したが、総利用者数は増加している。移転後の貸室は、平均使用率が80%以上となり、移転後もサービスを低下させることなく、市民活動団体の新たな活動拠点として定着し始めていることがうかがえる結果となった。 2. 情報収集・提供 県内外の市民活動団体の情報蓄積数は5,859団体となった。昨年度から市内9施設と連携して実施している「仙台に情報の背骨を通すプロジェクト(通称骨プロ)」は引き続き好評であり、利用件数は増加している。また、この取り組みに関する問合せが全国の支援センターから寄せられ、公共施設の連携による画期的な取り組みとして注目されている。 3. 人材育成事業 人材育成事業では、NPO入門編としての「NPOいろは塾」が好評である。さらに事業開発・資金調達などテーマ別を実施した講座も、ワークショップを取り入れより実践的な講座内容とした。参加者アンケートからはどの講座も高い評価をえられ、満足度が高かった。 4. 相談 H18年度は、日常的な窓口での相談と並行し、市民活動相談を強化するための新しい取り組みとして、協働相談・立ち上げ運営相談・事務用ブースインキュベート相談などの個別相談を実施し、段階に応じた相談の機会を提供した。引き続き市民活動の基礎相談からより高度な相談まで、持てる資源を有効に活用し対応していきたい。 5. 仙台市との協働 従来通り、約10日に一度のミーティングにより、情報共有につとめ、仙台市と指定管理者の協働のもと、迅速な課題解決を図るよう努めた。特に移転に関する作業に関しては、専従チームを配置することで、仙台市、各関係者との円滑な調整が行われたものと考えられる。 <p>新機能「市民活動シアター」の新設 移転に伴い、新たに「市民活動シアター」が併設となった。シアターは市民公益活動に限らず、文化・芸術の普及や振興を図る活動に利用できる場であり、従来のサポートセンターの機能とは異なる。シアター運営のためには技術的な知識や新たな受付体制が必要となったが、舞台や音響の技術者などの専従スタッフは配置せずサポートセンターの従来のスタッフ体制で運営に臨んだ。そのため市民文化事業団への協力を要請し、せんだい演劇工房10-BOXなど他施設からの支援を得ながら運営を行った。今後は更に関係機関との連携を図りながら、まちなかの文化・芸術発信の場としてアピールしていきたい。</p>

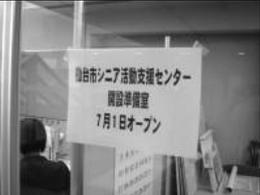
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 場の提供 2. 情報のサポート 3. 情報発信 4. まつり事業 移転に伴う、旧サポ-とセンターフィナーレ、新サポ-とセンターオープニング事業 5. 人材育成事業 6. 市民活動起業講座事業 7. 新規事業 市民活動シアター管理・運営 8. 移転 9. 視察・見学
------	---



仙台市市民活動サポートセンター 1階



現仙台市市民活動サポートセンターの外観

事業名	仙台市シニア活動支援センター開設準備業務	
委託者	仙台市(企画市民局地域政策部地域活動推進課)	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	「仙台市シニア活動支援センター」の開設準備期間において必要な業務を実施し、2007年7月1日オープン以降の円滑な施設の管理運営を実施することを目的とする。	
成果	仙台市の業務委託仕様書に基づき、お互いに必要な協議を重ね、開設準備にかかる業務を円滑に実施することができた。	
実施概要	<p>事業の期間:2007年4月1日から6月30日まで</p> <p>業務の内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)支援センター業務運営管理にあたって必要な書類・帳簿等の作成 <ul style="list-style-type: none"> 業務管理に必要なもの 勤務管理に必要なもの 各文書綴 (2)事業計画書作成と開催準備 <ul style="list-style-type: none"> 年間スケジュール コーディネーターグループ指導 羽ばたくシニアセミナー 社会貢献マッチング交流会 情報提供 関係機関との協力・連携及びシニア活動推進協議会発足準備 (3)職員研修 (4)開設記念行事の開催準備 (5)その他支援センターの開設準備に必要な業務 	

3. センターの運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

第8回通常総会

日 時：2006年9月9日(土) 13:15～15:45

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

出席者数：正会員 出席 18名、委任状提出 57名、合計 75名(正会員 102名中)

議 事：第1号議案 2005年度の事業報告および決算の承認

第2号議案 2006年度の事業計画および予算の審議・決定

第3号議案 定款の変更の承認

第4号議案 役員を選任

記念セミナー

日 時：2006年9月9日(土) 16:00～17:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

テ ー マ：「コミュニティの自立と経営」

講師：山田晴義さん(宮城大学 事業構想学部)

出席者数：42名

(2) 理事会の開催

2006年7月～2007年6月まで13回開催。

第87回理事会

日時：2006年7月28日(金) 19:40～22:00

- ・2005年度事業報告・決算報告について
- ・2006年度事業計画・予算について
- ・総会について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第88回理事会

日時：2006年8月21日(月) 19:00～21:05

- ・2005年度事業報告書・決算報告書の確認
- ・2006年度事業計画・予算の確認
- ・総会の提出議題の確認
- ・新規入会者承認
- ・その他

第89回理事会(総会直前)

日時：2006年9月9日(土) 11:30～12:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター

- ・2005年度事業報告・決算書の承認
- ・2006年度事業計画・予算の承認
- ・新規入会者承認
- ・その他

第90回理事会(理事合宿)

日時：2006年9月23日(土) 9:00～15:00

会場：蔵王ハイツ

- ・10年周年にむけて
- ・新体制(理事、事務局等)について
- ・評議員関連
- ・新規入会者承認
- ・その他

第91 回理事会

日時：2006年10月23日（月）19:30～22:20

- ・資金繰りについて
- ・中期計画について
- ・10周年記念事業について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第92 回理事会

日時：2006年11月28日（金）19:00～21:00

- ・中長期戦略と10周年記念事業
- ・新規入会者承認
- ・その他

第93 回理事会

日時：2005年12月20日（水）19:30～19:50

- ・仙台市シニア事業について
- ・東北労働金庫について
- ・中期戦略について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第94 回理事会

日時：2007年1月19日（金）19:10～21:30

- ・仙台市市民活動サポートセンターの移転に関する方針について
- ・仙台市市民活動サポートセンターの経費交渉について
- ・評議員について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第95 回理事会

日時：2007年2月20日（火）18:30～21:00

- ・新規入会者承認
- ・その他

第96 回理事会

日時：2007年3月20日（火）19:05～21:00

- ・就業規則改訂について
- ・資金繰りの検討について
- ・評議員会の開催について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第97 回理事会

日時：2007年4月20日（金）18:30～

- ・評議員会について
- ・資金繰りの検討について
- ・評議員会の内容・進め方について
- ・仙台市市民活動サポートセンターの今年度事業の方向性について
- ・新規入会者承認
- ・その他

第98 回理事会

日時：2007年5月21日（月）20:10～

- ・2006年度決算に迎えて
- ・新年度に向けて
- ・10周年に
- ・新規入会者承認
- ・その他

第99 回理事会

日時：2007年6月20日（水）18:30～21:00

- ・決算見込みについて
- ・総会について
- ・就業規則について
- ・新規入会者承認
- ・その他

* 会場の明記がないものは、すべてせんだい・みやぎ
NPOセンターにて開催した。

(3) 評議員会の開催

第12回評議員会

日時：2006年10月3日(火) 18:30～20:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

内容：2005年度事業報告と2006年度事業計画および今後の報告について、
意見交換

参加者：17名、理事4名、事務局5名

第13回評議員会

日時：2007年4月24日(火) 18:00～20:00

会場：仙台市市民活動サポートセンター 3階セミナーホール

内容：2006年度事業報告、10周年に向けたこれまでの成果の確認、意見交換

参加者：17名、理事4名、事務局6名

(4) 会員について

2006年7月期：会員数 198個人・団体

2007年6月期：会員数 184個人・団体

2006年7月から2007年6月の期間において、新規入会者は、正会員15(個人3、NPO5)、準会員7、種別変更は、正会員から準会員への切り替え、準会員から正会員への切り替えが各3口ずつあった。

(5) 事務局について

人員体制(2006年7月1日～2007年6月31日現在)

<職員>

せんだい・みやぎNPOセンター事務局勤務(仙台市青葉区大町)

代表理事：加藤哲夫

常務理事：紅邑晶子、黒澤 学

事務局長：紅邑晶子

事務局次長：青木ユカリ、遠藤智栄(～06.10.20)

常勤職員：遊佐さゆり、小松敏成(06.10.21～07.4.20)、大友和佳子(～06.9.30)

非常勤職員：遠藤智栄(06.10.21～)、小松敏成(07.4.21～)

高田 篤(～06.7.20)、佐藤友里(移転専任～06.9.20)

仙台市市民活動サポートセンター勤務

(仙台市青葉区本町 ～06.8、仙台市青葉区一番町 06.8～)

センター長：黒澤 学(06.4.1～)、遠藤孝志(～06.3.31)

副センター長：小松州子（06.4.1～） 眞壁さおり（～06.3.31）

常勤職員：伊藤浩子、内川奈津子（06.10.21～） 太田 貴（07.4.2～） 小林正夫、
小松州子、高橋陽佑、千葉やす恵、豊泉昭子（06.10.21～） 本田ふみ
八田篤司（～06.10.20） 渡辺幸代（～07.3.31）

非常勤職員：渋谷 丹、関口憲一、布田 剛（06.10.25～） 三井 克（07.4.2～）
内川奈津子（06.3.15～10.20）

仙台市シニア活動支援センター開設準備室（仙台市青葉区一番町 07.4.1～）

センター長：眞壁さおり

職員：小林正夫、青木ユカリ

< インターンシップの受け入れ >

特定非営利活動法人市民社会創造ファンドのインターンシップ奨励プログラム「NPOの現場を市民社会の小さな学校（SSCS）」によるインターン1名を受け入れた。

・八巻潤平さん（宮城大学 事業構想学部1年）

財団法人仙台市産業振興事業団の事業「ジョブ・トライアル 若者のための就業体験研修」による1名を受け入れた。

・夏井真紀子さん

< 研修生の受け入れ >

名取市（総務部政策企画課男女共同・市民参画推進室）より、2名の研修生を受け入れた。

会議

< 大町全体ミーティングの開催 >

2006年7月～2007年6月：12回開催（月1回）

メンバー：事務局長、事務局次長、大町職員、インターン

所管事項：大町における事業に関する事項、大町の総務関連事項、

その他

第16回：2006/7/14	第17回：8/17	第18回：9/21	第19回：10/19
第20回：11/17	第21回：12/14	第22回：2007/1/18	第23回：2/15
第24回：3/15	第25回：4/19	第26回：5/18	第27回：6/14

< 戦略会議の開催 >

2006年7月～2007年6月：12回開催（月1回、第3木曜日午後）

メンバー：常務理事、事務局長、事務局次長、SC正副センター長

（必要に応じて、事業担当者から報告を求める）

所管事項：センターの経営戦略全体、資金、人事に関する事項、大町・SC両業務の総括と連絡調整に関する事項、センター会議の運営に関する事項

第18回：2006/7/14 第19回：8/17 第20回：9/21 第21回：10/19

第22回：11/17 第23回：12/14 第24回：2007/1/15 第25回：2/15

第26回：3/15 第27回：4/19 第28回：5/18 第29回：6/14

< センター会議の開催 >

2006年7月～2007年6月：12回開催（月1回、最終水曜日）

参加者：センター職員全員

内容：全体で議論しなければならないことを中心に、事業報告系はMLへ

2006/7/26 今年度の当センターでの核プロジェクト報告、人事関連、高田さん壮行会&SC引越直前決起集会

8/30 研修、SC移転報告、総会について、9月の催事予定

9/27 パソコン環境セキュリティと個人情報管理について、宮城県におけるNPO法人の事業報告書等の実態調査報告について、研修報告、報告関連、スタッフメッセージ

10/25 研修、せんだいCARE S、研修報告、スタッフメッセージ

11/29 指定管理者公募の結果報告、情報セキュリティの管理体制について、年末調整の連絡

12/27 平成18年度源泉徴収について、みんな座談会について～担当するにあたっての心構え～、激動の118日！「市民活動シアター」の現場を知る！

2007/1/31 サポートセンターの組織体制について、今年度のプロジェクト報告

2/28 市民活動シアター受付手順と確認のローロプレイング

3/28 仙台市シニア活動支援センターについて、就業規則改訂について、サポセン次年度事業計画について、スタッフメッセージ

4/25 今年度事業について、スタッフメッセージ

5/30 平成18年度サポートセンター年間報告書のダイジェスト報告、はあとぼーと仙台、ボランティア受け入れについて、情報セキュリティについて、シニア活動支援センターの事業の詳細について、せみ事業の追加情報について

6/27 初任者研修報告、災害時マニュアル改訂について、就業規則改訂について、公共施設の管理に関する当センターのスタンス

< 目標管理会議 >

2006年7月～2007年6月：4回開催

参加者 SC正副センター長、SC各班主任

常務理事、事務局長、事務局次長

所管事項 仙台市市民活動サポートセンターの事業に関する事項

2006/7/5 10/4 2007/1/10 4/4

